3　主要農産物

(1) 茶

茶は本市の農産物の中で栽培作付面積が第1位であり本市を代表する農産物である。

茶の栽培条件として、「温暖な気候」「低地より標高が高い山間部」が挙げられ富士の裾野の比較的山間部で栽培されており、主な栽培地区としては、岩松地区、大淵地区、須津地区がある。

本市では自園自製自販の農家が他地域に比べると多く、それぞれの工場が製品を競い合っている。

近年は、自園自製農家を中心に、乗用型茶園管理機の導入が進み、効率的な生産が行われている。

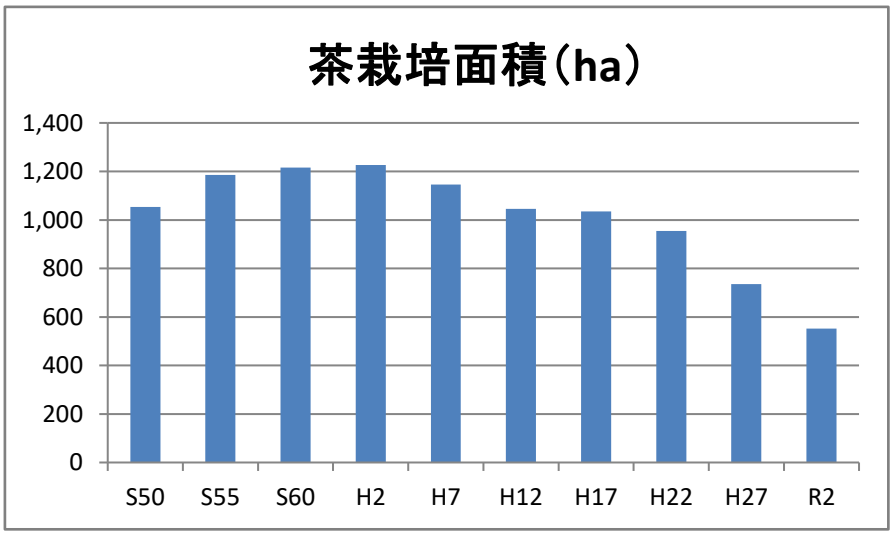
今後は、良質茶としての産地銘柄化を図るため、生産性の向上に向けた改植、農地整備や利用集積を推進するとともに、生産技術の向上を図り、「富士のお茶」として産地PR等の施策を展開する。

富士市の茶栽培面積　　単位:ha

年 次	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17
面 積	1,054	1,186	1,216	1,226	1,146	1,046	1,035

年 次	H18	H19	H20	H21	H22	H27	R2
面 積	1,035	1,040	1,030	1,030	955	735	552

資料:平成18年度までは静岡県農林水産統計年報、平成19～21年度は静岡農林統計情報協会が過年次統計等を用いて市町別に配分した試算値、平成22年度以降は、農林業センサス



(2) 米

米は本市の農産物の中で栽培作付面積が第2位の作物である。

水田は、ほ場整備を実施した富士東部地域や市街化周辺の富士中西部地域のほか富士川北部地域の平坦地に広がる。

富士市東部地域を除いては、小規模ほ場で規模拡大が難しく、近年では、都市化・工業化による改廃が進み、水田面積は減少傾向にある。

水稲作付面積の推移　　単位:ha

年 次	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
面 積	592	578	571	568	556	542	508	499	492

資料:農林水産省　作況調査

(3) 梨

梨は主に幸水、豊水が栽培されている。

本市の梨の特徴としては糖度が高く、多汁であることが挙げられる。これは本市の土質にあるといわれている。

また、庭先販売の形態が多く、市場に出回ることが少ないため、希少価値が高く、前述のような特徴があるため評価も高い。

梨栽培面積の推移　　単位:ha

年 次	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R2	R3	R4
面 積	39	39	38.7	37.7	37.2	36.6	38.9	38.9	33.9

資料:特産果樹生産動態等調査

(4) みかん

みかんは、主に温州みかんが栽培されている。愛鷹山麓や岩本山及び富士川沿いに産地を形成している。また、富士川地区は、従前みかん専作地域として産地形成されてきたが、全国的なみかんの生産過剰により、キウイフルーツ等への転換が促進された。

みかん栽培面積の推移　　単位:ha

年 次	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
面 積	48	48.3	49.2	43.9	42.3	44.1	44.1	95.6	95.6

資料:特産果樹生産動態等調査　　※R3より調査方法変更

(5) キウイフルーツ

キウイフルーツは、富士川地区で盛んに栽培されている。

栽培面積は減少傾向にあるが、国内で主に作られている品種であるヘイワードや東京ゴールドが多く栽培されている。

キウイフルーツ栽培面積の推移

単位:ha

年 次	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
面 積	9	9	9	9	9	9.3	9.3	9.3	8.3

資料:特産果樹生産動態等調査

(6) その他農作物

愛鷹山麓の東部地域や富士山麓の作土層の浅いところでは、ホウレンソウが栽培され、西部地区では、水田の裏作としてキャベツ、ホウレンソウ等の野菜が栽培されている。

また、平坦部を中心にイチゴ・花きが栽培され、丘陵部では、しきみの栽培が盛んである。

(7) 家畜飼育状況

家畜飼育状況

単位:頭/羽

区分 / 地区別	乳 用 牛	肉 用 牛	豚	採 卵 鶏	ブロイラー
総 数	-	-	358 (4)	94,000 (6)	99,900 (1)
吉 永	-	-	-	75,300 (3)	-
今 泉	-	-	-	1,700 (2)	-
大 淵	-	-	2 (2)	17,000 (1)	-
鷹 岡	-	-	356 (2)	-	-
北 部	-	-	-	-	-
松 野	-	-	-	-	99,900 (1)

※( )内は飼育実農家数(休業中の農家は除く)

資料:家畜伝染病予防法第12条の4に基づく定期報告
令和6年2月1日現在